

授業科目(ナンバリング)	介護総合演習Ⅰ(介)(DB204)			担当教員	浦 秀美		
展開方法	演習	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・通年	必修・選択	選択 (介護必修)
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>本演習は、介護実践に必要な知識と技術の統合を行うとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。そして、介護実習Ⅰの導入を円滑にすることを目的とし、実習の教育効果を上げ介護観を育てていく事がねらいである。介護福祉士を目指しているという自覚を持ち、そのための資質と能力を養っていく。</p> <p>演習では、実習施設に関する事前学習を行う。また、介護技術の確認や施設等のオリエンテーションのための訪問に向けた学び等、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習を行い、介護実習Ⅰの内容を身につけることもねらいとする。実習終了後は実習を振り返ることで介護の知識や技術、実践を統合する。</p> <p>本演習を受講することで、本学のディプロマポリシーでも示されている(介護福祉士としての)専門知識・技術を修得し、課題解決を図ることができるようになることもねらいとしたい。</p>							⑤⑥⑦⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生としての意識や姿勢について説明できる。 ・実習で何を学びたいかを説明できる。 ・実習後、学んだことや残された課題を説明できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・個人票 ・実習後報告 	30% 20% 10%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を検討することで、支援技術の手順や留意点を指摘できる。 ・実習施設に関する情報を収集しまとめることができる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・発表 	15%	
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・実習取り組み内容を整理し、実習学生個人票として表現できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・個人票 	15%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・実習取り組み、進捗報告を聞くことで、他の実習生と協調できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・帰校日報告 	10%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・個人票(35%)：実習学生個人票のことである。長崎国際大学介護実習要綱やテキストを活用し、介護実習Ⅰでの達成課題の設定状況、介護実習Ⅰの担当教員からの複数回の指導を自発的に受け、作成したものについて評価する。 ・発表(45%)：発表事前準備・確認状況、司会進行・介護者役・利用者役の実施状況によって評価する。 ・帰校日報告(10%)：実習への取り組み報告、次の実習に向けた課題の報告について評価する。 ・実習後報告会(10%)：実習での取り組み、目標の達成状況、実習後の反省や今後の課題の明確化によって評価する。 							
授業の概要							
<p>介護実習Ⅰの事前学習も含めた科目である。これまでに学んだことについて演習を通して確認し、学習到達状況に応じて総合的に学習していく。また、実習への取り組み全体に関するオリエンテーションも行う。演習内容によって、ディスカッションも取り入れた個人ワークやペアワーク、グループワークを行う。事前レジュメ作成や提出、発表も行いたい。実習後には実習報告も行い、実習についての振り返りや次の実習に向けた課題設定まで検討していく。授業は講義室を使用する。介護実習室にて授業を行う。実習終了時にまとめる「介護のまとめ」について、教員の所見を付したものを返却しながらフィードバックを行い、次の実習につなげる。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：介護福祉士養成講座編集委員会(2019)最新介護福祉士養成講座10『介護総合演習・介護実習』 中央法規出版株式会社</p> <p>参考書：長崎国際大学介護実習要綱</p> <p>指定図書：介護福祉士養成講座編集委員会(2019)最新介護福祉士養成講座10『介護総合演習・介護実習』 中央法規出版株式会社</p>							

授業外における学修及び学生に期待すること

本演習は介護実習との関連する科目です。社会に出るということを意識し、社会人としての応対を求めます。本授業に限ることではありませんが、授業の欠席や遅刻、提出物の期限厳守などについては十分気をつけて下さい。また、社会人としてのマナーや服装、態度を身につける努力をしてください。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	介護総合演習と介護実習との関係	介護実習の事前指導の面もそなえている介護総合演習であるため、介護実習の意義について学ぶ。また、介護実習の方法と目的についても学ぶ。	予：テキスト冒頭の「まえがき」確認 復：配布の再読、介護実習方法と目的の整理
2 3	実習先に関する知識と理解①② 知識と技術の統合①②	特養・老健・ケアハウスの概要と業務内容について学ぶ。	予：特養概要調べ 復：配付資料の再読
4 5	実習先に関する知識と理解③④ 知識と技術の統合③④	特養・老健・ケアハウスの一日を理解する（利用者の一日・介護職員の日）。	予：生活全般（24時間）を考える 復：利用者・介護職員の日を理解する。
6 7	介護実習に関するオリエンテーション①②	介護実習における記録の必要性和重要性について学ぶ。	予：記録重要ポイントを考える 復：記録の整理
8 9	介護実習に関するオリエンテーション③④ 知識と技術の統合⑤⑥	介護実習時に取り組む記録の記載方法について学ぶ。	予：記録時気をつけることの確認 復：記載方法の整理
10 11 12	実習施設と連絡 その他①②③	実習施設での事前オリエンテーションの確認を行う。実習施設での事前オリエンテーションに向けて、実習個人票を作成する。	予：自身の長所・短所確認 復：個人票作成に必要な事項の整理
13	実習施設と連絡 その他④	実習ガイダンスを行う。実習に関するガイダンスと確認作業、マナーや服装・態度の再確認、実習における問題発生時の対応の確認、実習時における感染予防について学ぶ。	予：社会人としての礼儀を調べる 復：配付資料の再読
14	実習への具体的取り組み	実習施設での事前オリエンテーション後、実習目標や課題を明確にし、実習計画を再確認する。	予：実習目標の検討 復：事前オリエンテーション確認事項の明確化
15	実習前の確認	最終オリエンテーション、健康状態確認等を行う。	予：体調管理必要事項調べ 復：最終準備を行う
16	実習後報告会 知識と技術の統合⑦	夏期実習で学んだことや残された課題の報告を行う。	予：報告内容の作成 復：配付資料の再読
17 18 19 20 21 22	実習に必要な知識・技術の確認①②③④⑤ 知識と技術の統合⑧⑨⑩⑪⑫ 介護実践の科学的探究①②③④⑤	個別の学習到達状況に応じた総合的な学習として、夏期実習で取り組んだ事柄を事例として取り扱い、事例を用いた演習を行う。 ステップ表（必要な知識・技術に関する確認シート）を作成する。	予：ステップ表作成準備（項目のピックアップ） 復：事例を振り返る
23 24	介護実習に関するオリエンテーション①②	介護実習における記録の必要性和重要性について学ぶ。	予：夏季実習時の記録様式の確認 復：記録の整理
25 26	介護実習に関するオリエンテーション③④	介護実習時に取り組む記録の記載方法について学ぶ。	予：記録様式確認 復：記載方法の整理
27 28	実習施設と連絡 その他⑤⑥	実習施設での事前オリエンテーションや実習内容明確化のための個人票を作成する。	予：夏季実習個人票確認 復：個人票の作成
29	実習への具体的取り組み	実習施設での事前オリエンテーション後、実習目標や課題を明確にし、実習計画を再確認する。	予：施設アポイントメント 復：事前オリエンテーション確認事項の整理
30	実習確認	最終オリエンテーション、健康状態確認等を行う。	予：必要物品の確認 復：最終準備を行う